

愛灯園 **だ** **よ** **り**

第177号 平成18年4月1日発行



平成十八年度 事業計画

社会福祉法人 愛灯園

社会福祉基礎構造改革以降、福祉施設を取巻く環境は大きく変容しています。

介護保険制度改革、障害者自立支援法等社会福祉の枠組みが大きく変わる等高齢化社会に向けての取り組みがなされる一方で社会保障制度だけでなく、人口減少社会の到来、定率減税の廃止、消費税引き上げの議論など生活を取巻く環境も大きく変わろうとしています。昨年、介護保険制度が一部前倒しで改正され、居住費、食費等が保険給付から除外され、益々高齢者負担増となりました。

二〇〇六年四月スタートする介護予防や地域密着型サービスの重点課題は介護予防マネジメント、地域関係機関とのネットワーク作り、福祉と医療の緊密な連携が不可欠となりました。

「食の充実」「機能訓練の強化」や利用者が多様化する中で、時代の流れをしっかりとみつめ、広い知識と専門性に裏付けされた行動力等「職員の資質の向上」がより一層求められるようになりました。

当法人においても永年の経験を生かし、地域社会のニーズに並び、福祉環境作りの構築に向けた取り組みを行い、「非常災害」「感染症予防対策」等のリスクマネジメントを組織的に展開し、「事故発生、再発防止」等の強化を行い、高齢者の暮らしを守る環境作りに取り組んでいく事が重要な課題となりました。

法人運営のさらなる自立性、効率的な経営構築に向けた取り組みをし、社会福祉法人が自らの使命を再確認し、施設福祉と在宅福祉の連携をはかりつつ地域社会の老人福祉の向上に努力していきます。

管楽器部 演奏会慰問



2月25日、野岸小学校の管楽器クラブの生徒さん達が演奏会を開いて下さいました。小学生とは思えない本格的な演奏技術はとても素晴らしいものでした。普段、生の演奏を聴く事がほとんど無い私達も、思わず聞き入ってしまいました。



ひなまつり会



3月3日に、ホームとセンター合同のひなまつり会が開催されました。

まず初めに、カラオケに合わせて参加者全員で「うれしいひなまつり」を合唱しました。段々盛り上がってきたところで、職員による琴の演奏「上を向いて歩こう」「桜」や踊りの披露「武田節」もあり、より一層盛り上がりました。

短歌紹介

なつかしいやんちゃ時代の同級会
手と手をとって 涙ぼろぼろ
幸多き暮らし求めて福は内
お寺の鐘が 遠くかすかに

利用者 塩川 芳門さん 作



やまへい会食会

やまへい会食会に利用者・職員 15 名が招待されました。今回はやまへい様開店 30 周年の会食会でした。

沢山のごちそうを前に利用者の皆様は「すごいね」と感激されていました。お料理を見て楽しみ「おいしいね」「残したら作ってくれた人に失礼だよ」と口々に喜びを表しながら召し上がっておりました。

午後には、「しらかば幼稚園」の園児達の合唱を聞き、利用者と手遊びも一緒に楽しまれました。園児から手作りの小物入れをプレゼントされ感涙されている利用者も

おりました。その他に、大正琴や踊りを見させて頂きました。職員にとっても他の施設の方とも交流ができ利用者・職員ともにとても貴重な 1 日を過ごすことができました。



たのしい「デイサービスセンター」より

雪も溶け、寒さも和らぎ、ふきのとうや福寿草も、ちらほら咲き出して春らしくなってきたこの頃です。

デイサービスセンターでは、利用者の方に、一日を楽しく過ごしていただける様に午後のリハビリ・レクリエーションのメニューを考えています。

毎日軽い運動から始まります。そのひとつに空のペットボトルの中に砂を入れその人に合った大きさ重さを決め、手に持ってリズムを取りながら動かします。足の運動として砂袋を作り、片方ずつ上下運動に使用しています。

工作では、落葉で「しおり」を作ったり、紙を折り「コースター」等を作りました。その他にゲーム・カラオケ・方言など・・・方言では、一人一人生まれた場所も違ったりするので、生まれた所の方言をお聞きしたり又、その方言の意味など、皆で考えたりしています。カレンダー作りもその月に合った、絵を考えプリントし塗り絵を行い、自宅に持参していただいています。

これからも色々な事に力を入れて皆さんに喜んでいただけるデイサービスにしていきたいと思っています。



体験学習レポートより

3日間の研修でしたが、職員の皆様に助けられながら終了することができました。職員の皆様から見れば、100分の1も労働ができなかったと思うが、介護の一端でも知ることができ、かけがえのない経験であった。

入所者の介護が2日間、通所者の介護が1日間であり、多くの方と接することができたと思うが、言葉によるコミュニケーションは難しいところがありましたが皆それぞれ個性があり、3日間の研修の中で特に入所者の皆様には愛着が湧いてきてしまいました。しかしながら、ただやさしく接することが介護ではないということも職員の方の入所者への接し方を見て学びました。介護は技術も重要ではあるが、時には厳しく接することも重要であり、この研修ではそのことがいかに難しいことか考えさせられました。

介護は自分の問題であります。いつ自分は介護するのか、またされるのか、もはや避けて通れなくなっています。ただ介護というものを3日間経験し大変だっただけで終わらず、あらためて、自分というもの、また自分の取巻く社会の中でこのテーマについて深く考えてみたいと思います。

私も行政に携わる一人としてこの研修は貴重な経験になりました。行政のあらゆる分野の中でも「福祉」は最も難しい分野の1つです。自分が一体「福祉」に対し、何ができるのか、今まで何をしてきたのか、自分の非学、非力を恥じる場所である。

行政としてできることは、何か。今、答えが見い出せない。やはり知恵を出していかなばならない。それには、第一線で介護をしている人達の意見を聞き、しっかりとその現場を見なければならぬ。

もう一度機会があれば、愛灯園で働いてみたい。

3日間指導していただいた、職員の皆様お世話になりました。本当にありがとうございました。

そして愛すべき入所者のおじいちゃん、おばあちゃんこれからも末永くお元気で。愛灯園で研修ができたことは、私の誇りです。



(佐久地方事務所 Y様 H17.9.17)



昨年のふれあいまつりの作品を見たのがきっかけで、以前からの習字への思いが再び強くなり始めました。

毎日少しずつ、気の向いた時間に筆をとっています。

職員の問いに「なかなか思うように書けないよ」と、利用者さんは笑顔で答えていました。



これからの行事予定

4 月

愛灯園神社祭
お花見外出
介護者教室(24日)
リハビリ教室(17日)
合同誕生日会(19日)

5 月

地藏尊縁日
創立記念日・家族会(3日)
総合防災訓練
リハビリ教室(17日)
合同誕生日会(18日)

6 月

道祖神縁日
春の小運動会(8日)
食中毒予防月間
リハビリ教室(21日)
合同誕生日会(23日)

ご協力ありがとうございました

平成 17 年 10 月 1 日以降平成 18 年 3 月末日までのものを掲載させていただきました。

紙上をもってお礼申し上げます。

山屋物産株式会社様、高橋 紀子様、柳澤 芳明様、宿岩 恒夫様、清水 公江様 他6名、
佐久造園組合青年部代表 岩井 康人様、小諸市立芦原中学校合唱部 他計21名 引率3名、
小諸市農業青年クラブ会長 田嶋 雄幸様 他15名、千曲小学校5年生 生徒35名 引率2名、
坂の上小学校 ボランティア委員会生徒16名 引率1名、野岸小学校管楽器部生徒40名 引率9名、
株式会社やまへい様

編集後記

ふと、外の景色を見渡すと、
少しずつ春めいてきているのを感じました。

施設の外から見える浅間山のふもとの
雪も少しずつ溶け始めました。



いよいよ春本番！！といった感じでしょうか・・・。
皆さんも心を新たに、また一年がんばって行きましょ！



社会福祉法人

愛灯園

〒384-0805

長野県小諸市字高峯己1番地

TEL:0267-22-8177

FAX:0267-25-2233

TEL:0267-24-0056

(センター)

E-Mail: info@aitouen.org

http://www.aitouen.org